

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	青年の家管理運営事業						担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生涯学習課			
	事業期間	平成22年度			～	平成30年度以降			担当係	青少年育成係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		3 健全な青少年を地域で育てる					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	2	中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市青年の家等の設置及び管理に関する条例										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="checkbox"/>	一部又は全部委託		
		<input type="radio"/>	指定管理・外郭団体			名称：小牧市施設活用協会						
		<input type="checkbox"/>	NPO・その他			名称：						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	<p>市民が利用しやすいよう施設整備の管理をするとともに、青少年の仲間づくりを通じて、友愛の精神を涵養したり、ボランティア活動に目を向けることを目指して、より多くの青少年の参画を図る。</p> <p>※平成21年度までは、「青年の家管理事業」と「青年の家運営事業」の2事業であったものを22年度からまとめて1事業とした。</p>											
内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理とともに、青少年の講座を指定管理とした。 ・気持ちよく宿泊してもらうよう、22年度から掛布団と敷布団を3年に分け買い替える。 ・施設を利用しやすくするため、青少年団体や青少年育成団体等、目的にあった団体に料金の減免登録を実施した。 ・不登校の悩みを抱える児童生徒の適応指導教室(学校教育課主管)への協力・支援を行った。 ・青年講座を12講座実施した。(フラダンス、料理、韓国文化、カメラ 等) ・親子、小中学生講座を4講座実施した。(ゆかたの着付け、歴史 等) ・青少年講座修了後に結成された同好会に発表の場を提供し、青少年の交流を深めるとともに、青年の家事業のPRをするため、「青年の家フェスティバル」を開催した。(10団体: 来場者約300人) ・小牧山で開催される「桜まつり」、「市民まつり」において、同好会に働きかけ、青年の家で自主的な講座や展示発表を実施してもらった。 											
受益者負担	有	内容	参加者の保険料									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	0	24,430	26,639	
		正職員	従事者数	人	0.00	0.20	0.20
			人件費	千円	0	1,073	1,073
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計		千円	0	25,503	27,712
	対前年比		%		#DIV/0!		
財源	一般財源	千円	0	24,514	26,790		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	989	922		

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		開館日数	日	目標	308	307	308
				実績	308	307	
		講座開催回数	回	目標	39	40	50
				実績	39	38	
				目標			
	実績						
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		青年の家利用件数	件	目標	—	—	—
				実績	3,800	4,252	
講座参加者数		人	目標	149	260	—	
			実績	131	262		

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	青年の家利用件数が増加し、講座参加者数も目標を上回っただけでなく、青年講座を修了後に結成された同好会が、子どもたちのために講座を開催するなど、社会に還元できる活動に繋がっている。		
	事業を廃止・休止したときの影響	小牧市内で、宿泊して自然体験ができる施設が他にないため、廃止すれば子どもたちの活動の機会が少なくなる。		
	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	青年の家の立地を活かした講座等に切り替え、他の施設との差別化を図り運営していく必要がある。		
	今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	小牧山の立地を活かした、宿泊を伴う講座等を実施していく。また、青年の家で青少年のサポートができるボランティアを育成していく。		

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	一次評価のとおり		